



新連載 ちょっと変わった税理士シリーズ

年金ビジネスとして、何を選択するか？

偶数月にある『15日の混乱』とは？

（その1）将来に向かって、次の一手となるビジネスでしょうか？



慎重な経営者は、将来を楽観的に考えない方が多いですね。

私の本業税理士業も、後継者難による廃業や、新規開業者の減少などから、これから関与先の確保が難しくなると思われます。

その打開策として、『金庫番ビジネス』をしてはどうか？と考えていました。

経営者の中には、金庫番を求めているニーズはあると感じていたからです。

例えば、

後継者が育つまでの間、乗っ取られない方に資金繰りを任せたい。

ところが、

事業再生含みで、儲かっているんだけど、資金繰りの仕方が分からない方もおり、後者の方が緊急的、かつ、切実なニーズとなります。

これは、

ペーパー（机上）による再生ではなく、実践的な再生案件です。

当然、

請けるか否かは、慎重となります。ポイントは、ませられる従業員の有無です。

仮に、

金庫番を引き受けたとして、

- ① 導入時は、ものすごい事務量（月の半分）がかかります。
- ② 資金繰りから改善点を見つけ、
- ③ こちらからお願いしたことをこなせるスタッフがいて、
- ③ 淡々と金庫番をし、改善には数年を要することになります。
- ④ 報酬は、長く関与できるなら将来年金の一部と割り切り、数年は低額報酬を覚悟しなければいけません。

こんな、

ハイリスク・ローリターンを従業員にさせる訳にはいきません。

まさに、

金庫番ビジネスは、お人好しビジネスです。

お勧めしませんが、仮に引き受けると大変勉強になります。

（その2）偶数月の混乱

ここでクイズ？

偶数月の15日 朝9時から混雑するところは何処でしょう？

答えは、金融機関です。

なぜなら、年金の支給日だからです。

混雑は窓口だけでなく、A T Mコーナーも行列となります。

それは4月15日のことでした。某金融機関のA T Mに一列で並んでいると、とあるご婦人だけ、90度向きが違いました。

「割り込みしないといいな。」と思っていましたが、誘導ロープの切れ目から、歩き出しました。

「みんな並んでいるんだから、順番ですよ」と声を掛けると、しぶしぶ戻りました。（私忙しいだから・・・）とでも言いそうな顔でした。

その日は複数の金融機関を廻らないといけなく、二つ目の金融機関へ。

ここは、3箇所に並ぶ場所がありました。

1カ所目はA T M 2台に対して、1人（Aさん）並んでいます。

でも、1台は操作不良で行員対応中、もう1台にはご年配のご婦人がいましたが、どうも通帳を次から次と出しては入金しています。

ここはまずいと殺気を感じて、他に並ぶことにしました。

2カ所は5台の機会に10人並んでおり、ここも諦めます。

一番奥は5人待ち。なんでここは空いているのか？と思ったら、A T Mの近くでウロツク挙動不審な男性の老人1名がいました。

案の定、その老人男性は割り込みを始めようとしてしました。

注意したご婦人に対して「なんだバカヤロ」と2, 3歩近づき威嚇します。

ご婦人は、威嚇男性の隣A T Mが空きましたが、行かずに帰りました。

ご婦人の2番遅れで、通帳記帳を終えた私は、出口に向かうとまだ、最初のA T Mに並んでいたAさんの番がこないで、泣きそうな顔で待っていました。

当日の午後、この金融機関のA T Mコーナーは、ガラガラでした。

6月15日銀行は
午後に行こう



万代つばさグループ代表
発行者 八百板 誠

(税理士法人 万代つばさ 代表社員税理士)
(八百板誠行政書士事務所)

事 務 所 : 新潟市中央区下大川前通7ノ町2230番地 (8階建の1階奥です)

025 (228) 4697

編集者より 記事は独自の調査分析により書き上げております。

明示、黙示にかかわらず、発行者（当事務所）がこれを保証するものではありません。